

第2回

観光ガイド育成検定試験

【中級解答】

平成20年11月16日

注意

1. 開始の合図があるまでは、答案用紙を開かないでください。
2. 開始後30分が過ぎる前に会場を退出することはできません。

次の1 から10 までのテーマに関する文章を読んで、設問に該当する答をひとつだけ選んで○をつけるか、指示がある場合は()の中に当てはまる言葉を記入してください。

1：「比羅夫伝説」が後世に与えた影響

「羊蹄山」は、「後方羊蹄山」と記されることもあります。この「後方羊蹄」の名を始めて記した史書は、『日本書紀』です。この中に、659（斉明5）年、阿倍比羅夫が百八十艘の軍船を率いて北征した際、二人の蝦夷から「後方羊蹄をもって政所とすべし」と進言があり、「後方羊蹄」に郡庁を置いて帰ったと記されています。「比羅夫伝説」はこの記述から生れ、「後方羊蹄」の文字は後世に大きな影響を及ぼします。

「比羅夫伝説」に対する最大の関心事は、「後方羊蹄」の地がどこかということでしょう。東北地方や北海道など諸説**A**のひとつと言われてきたのが、“尻別川のそばにある高地”というものです。喜茂別町の尻別岳山麓は、多くの歴史的人物によって「後方羊蹄」の地と信じられてきた場所のひとつです。この説を立証するために、これまでも考古学的な発掘調査が行われ、石器や小刀など様々な出土品が発掘されています。しかし、それらは尻別川の豊かな恵みに依拠してきた先住民族の生活の証であったり、和人からの交易品などではあっても、「後方羊蹄」の地としての立証に至るものではありませんでした。しかし、この地が「後方羊蹄」であると信じた**(B)**らによって**(C)**年留産地区に建立された比羅夫神社は、2度にわたる移転を経て現在の丸山の地に移り、留産、比羅岡両地区の住民によって祀られています。比羅夫神社には、この間の経緯を記した「由来」が飾られ、地域の中で語り伝えられています。

【問1】諸説**A**に該当しない場所はどれですか。

- 1) 余市 2) 津軽（青森県） 3) 倶知安 4) 札幌

【問2】比羅夫神社建立を地域住民に直接働きかけた中心的人物**B**の名前はどれですか。

- 1) 田村頭允 2) 河合篤叙 3) 稲村道三郎 4) 阿部嘉左衛門

【問3】比羅夫神社が建立された年**C**はいつですか。

- 1) 明治37年 2) 大正2年 3) 昭和6年 4) 昭和44年

2：「羊蹄山」山名の変遷

羊蹄山と尻別岳は、ともに尻別川流域に並ぶ山ですが、和人の紀行文や古地図の中では、この両者はしばしば混同されています。“尻別川の地こそが「後方羊蹄」である”と始めて記したのは新井白石の『蝦夷志』（1720）であり、松前広長も『松前志』（1781年）の中で、羊蹄山こそが日本書紀の言う「後方羊蹄」だとして地図を作成していますが、「後方羊蹄」と「尻別」の読みが近いこともあって、その後もさまざまな混乱が続きます。

アイヌ語では、「シリベツ」もしくは「シリペツ」は**(A)**という語源を有していますが、一方「しりべし」の語源をアイヌ語に求めることは難しく、漢字の読みをそ

のままあてはめた地名 **B** と言えます。

江戸時代に記された文献や古地図のなかでは、羊蹄山は様々な名称で記録されていますが、その多くは「尻別岳大山」「尻別獄」「尻別御山」など「シリベツ」と読ませる例が多く、音の混同が見られます。明治政府は、当初から公文書においては「後方羊蹄山（しりべしやま）」と表記しますが、一方で、**(C)** に西欧の近代的な測量技術を導入した技師とその関連官庁や学術研究者は **(D)** と表記する例もあり、双方の間で学術論争も行われました。**(C)** に西欧の測量技術を導入した全道の20万分の1地図が、日本で最も早く完成します。明治30年代から北海道への入植者が急増するに従い、「後方羊蹄山（しりべつやま）」の読み方が難しいなどの理由から、その山容にちなんで「蝦夷富士」と称されることが増え、地元自治体からの要望もあって、昭和40年代の地形図からは、「羊蹄山(蝦夷富士)」と記されるようになったのです。

【問4】「シリベツ」あるいは「シリペツ」の語源 **A** はどのような意味でしょうか。

- 1) 川がお尻のように分かれるところ 2) 後を流れる川 3) 山の近くの川
4) 水源が高いところにある川

【問5】地名 **B** の「しりべし」の漢字表記と読みは「後方（しりべ）羊蹄（し）」ですが、この「羊蹄（し）」はある薬草の略名です。皮膚病に効くと言われるこの薬草は、何といわれていた植物でしょうか。振るとそのような音が出るから、という説もあります。その植物名をひらがなで書いてください。→（ **ぎしぎし** ）

【問6】西欧の近代的測量技術を導入して、国内で始めて20万分の一地図を作成した年代 **C** はいつでしょうか。

- 1) 明治2年 2) 明治20年代 3) 明治40年代 4) 大正20年代

【問7】**D** に当てはまる山の呼称を選んでください。

- 1) マチネシリ 2) ピンネシリ 3) 蝦夷富士 4) マッカリヌプリ

3：羊蹄山観光開発の始まりと鉄道開通の影響

羊蹄山麓の観光史にとって、明治37年は忘れることのできない年です。この年、大量輸送機関となる北海道鉄道が小樽から函館まで開通し、倶知安村（当時）では、尻別川が大きく蛇行する大曲地区あたりに作られた駅を比羅夫駅と名づけ、旅行者の関心をこの地にひきつけようという動きが生まれます。この動きの中心にあったのが「蝦夷富士登山会」で、初代会長は **(A)** です。彼らは、旅行者の関心を「後方羊蹄山」に誘うため、比羅夫駅から羊蹄山頂に至る登山路を開削します。大正2年には登山路入り口に大鳥居を建て、頂上の北海神社を **(B)** に改修する事業に着手しますが、社殿建立は実現しませんでした。この事業を引き継いだかのように、倶知安神社の境内には阿倍比羅夫を祀った「蝦夷富士羊蹄山神社」が置かれています。

「比羅夫伝説」に基づいたこの観光戦略を可能にしたのは北海道鉄道の開通ですが、当時貴族院議員だった **(C)** を社長に据えたこの鉄道会社は、国策によって支えられた資源輸送戦略を主たる狙いとしていました。内陸の炭鉱と主要港湾を結ぶために、

大量輸送が可能な鉄道は経済的にも軍事的にも大きな役割が課せられていたのです。明治40年には国有鉄道となり、大正8年には脇方鉱山Dの鉄鉱石輸送を目的として京極線が倶知安駅から延伸され、その後の(E)へとつながっていきます。鉄道の敷設は、日本の近代化にとって大きな役割を果たしますが、半面でその過酷な敷設工事に伴うタコ部屋の実態にも眼を向ける必要があります。倶知安に在住していた作家(F)は、その悲惨な実態を「血の呻き」「地獄」「監獄部屋」などの小説に著し、世に問いました。

【問8】蝦夷富士登山会の初代会長Aは比羅夫神社建立にも関わった人物です。誰ですか。

- 1) 田村顕允 2) 河合篤叙 3) 稲村道三郎 4) 阿部嘉左衛門

【問9】蝦夷富士登山会が北海神社を改修して建立を目指した神社Bを選んでください。

- 1) 比羅夫神社 2) 蝦夷富士神社 3) 後方羊蹄神社 4) 羊蹄山神社

【問10】Cに当てはまる人物の名前は、下記のどれでしょうか。

- 1) 副島種臣 2) 東久世通禧 3) 北垣国道 4) 岩村通俊

【問11】鉄鉱石を鉄道で搬出した脇方鉱山Dの所在町村はどこでしょう。

- 1) 倶知安町 2) 喜茂別町 3) 京極町 4) 共和町

【問12】鉄道の路線Eの名称を書いてください。倶知安駅から伊達紋別駅までの区間で、既に廃線となっています。→ (胆振線 or 胆振鉄道、胆振縦貫鉄道、国鉄胆振線)

【問13】この作家の名前Fは、下記のどれでしょう。倶知安在住の作家でした。

- 1) 畔柳二美 2) 杉沢文月 3) 海老名礼太 4) 沼田流人

4：羊蹄山は複雑な構造のコニーデ型火山

羊蹄山は単独峰の火山ですが、同じ型の富士山同様、内部は複雑な構造となっています。山肌の「曲点」を横につなげると、山が3つに輪切りされます。このことから、羊蹄山が大きく3つの時代によって形成されたことがわかります。頂上には、大火口(父釜)を含め3つの噴火口が見られるほか、(A)など複数の寄生火山も見られ、羊蹄山の複雑な生成過程を物語っています。

平成2年に確定された羊蹄山の標高は、1,898メートルです。しかし、標高がこの数値に確定されるまでには、歴史の中で二転三転してきました。その原因は、時代による測量技術の違いもありますが、なにより火口付近のどこが羊蹄山の頂上なのか、という問題もあったことでしょう。初めて近代的な測量技術によって羊蹄山の標高を測量した明治29年の調査については「(B) 気象観測記」に記されていますが、1,857mでした。この標高は、大火口周囲の真狩ピーク1,860mに近い値です。さらに明治42年の1,943mを経て、大正9年の地図では(C)となりました。この数値は、真狩岳ピークの標高です。以来、(D)の標高改定までこの数値が使われていました。平成2年に全国のいくつかの山の標高が変更されたとき、羊蹄山の標高も1,898mへと変更されました。これは、羊蹄山で最も高い(E)の標高値です。このように、標高の変遷は、この場所が羊蹄山の最高点なのかという問題に関連しているようです。

【問14】羊蹄山には複数の寄生火山があります。Aに該当しないものを選んでください。

- 1) 山頂部の北山 2) 半月湖 3) 富士見火山 4) 古羊蹄山

【問15】調査報告書に記されたBに該当する羊蹄山の別の名称を選んでください。

- 1) 後方羊蹄山 2) マチネシリ 3) 蝦夷富士 4) マッカリヌプリ

【問16】Cの標高は、いくらでしょうか。

- 1) 1,893m 2) 1,843.7m 3) 1,898m 4) 1,860m

【問17】Dはいつでしょうか。

- 1) 昭和21年 2) 昭和63年 3) 平成2年 4) 平成12年

【問18】羊蹄山最高峰のピークEは、どれでしょうか。

- 1) 京極ピーク 2) 真狩ピーク 3) 羊蹄山（真狩岳） 4) 喜茂別ピーク

5. 生態系の垂直分布

羊蹄山は、生態系の垂直分布が顕著な単独峰です。その山頂火口内を含む山頂一帯は高山ハイデ及び風衝草原となっていて、ガレ場には氷河期の生き残りと言われる昆虫（A）ほか5種類の高山蛾が生息しています。氷河期に広く生息していたこれらの昆虫は、その後の気温の上昇で羊蹄山と（B）の頂上に避難して生き残っているのです。（B）のような広範囲の山岳地帯と違い、羊蹄山は単独峰なのでその生育環境は狭く、一層厳しい環境に適応していると言って良いでしょう。また、高山植物帯には90を越える高山植物が分布しており、大正10年、（C）に指定されています。ある特定の環境にのみ生育する植物や昆虫類の生態系についてはまだわかっていないことが多く、羊蹄山はまだ未知の山と言えます。

垂直分布の顕著な羊蹄山と比べ、ニセコ山系は硫黄の影響を受けて、（D）などではダケカンバとハイマツなどの植生の垂直分布が一部逆転しているところがあります。また、羊蹄山には存在するがニセコ山系には存在しない植物が約30種、その逆も40種ほどあり、尻別川を挟んで隣り合う2つの山はその生態系を大きく異にしているのです。

【問19】羊蹄山山頂に生息する氷河期の生き残りの昆虫Aの名称を選んでください。

- 1) カラフトルリシジミ 2) ラウスオサムシ 3) エゾカオジロトンボ
4) ダイセツオサムシ

【問20】Bの山の名称を書いてください。虫の名前にも付いています、→（大雪山）

【問21】Cに該当するものを選んでください。

- 1) 国の特別天然記念物 2) 国の天然記念物 3) 北海道の天然記念物
4) 倶知安町の天然記念物

【問22】Dに該当する山の名前を選んでください。垂直分布逆転の原因に関係があります。

- 1) ニセコアンヌプリ 2) イワオヌプリ 3) チセヌプリ 4) モイワ山

6：「ニセコ」の名称にまつわる歴史の謎

全国的に有名になった「ニセコ」は（A）の略称ですが、（A）は、山容の穏やかなイメージとは異なる「絶壁にある山」という意味を持っています。この謎については、ニセコアンペツ（川）がモイワ山の裾野で遭遇する峡谷が絶壁になっていることから、「ニセコアン」「ニセコアンペツ」という名称が生れ、モイワ山の背後にそびえる主峰（A）の名称に繋がったのではないかと、という説もあります。

このように、（A）の語源に関連して該当する山の特定があいまいなのは、イワオヌプリやチセヌプリ、（A）などはいずれも（B）から硫黄の採掘現場だったことから「硫黄山」と総称され、最も標高が高く景観としても目立ったはずの（A）には、（C）の地図に始めて名称が掲載されるまで「硫黄山」以外の固有名詞が付かなかったことに関連していると考えられます。硫黄の採掘については明治政府も大きな関心を寄せ、鉱山技師ライマンも明治6年から調査を行っています。経営体が交代しながら硫黄の採掘は昭和12年まで続けられ、明治12年から19年まで採掘の経営に当たった（D）と、その後を引き継ぎ近代的な採掘技術を導入して産出量を大幅に伸ばした（E）は、地域の歴史にも大きな足跡を残しました。

なかでも、（D）による硫黄採掘は、（D）を創った伊達の互理藩士たちにとっても羊蹄山麓地域にとっても様々な意味で大きな歴史的意義を有しています。（D）の指導者である（F）は伊達に移住した仙台互理藩の家老でもありましたが、本願寺道路の開削に際しては藩士をその工事に参加させ、途中の要所である喜茂別の相川（留産）に阿部嘉左衛門を派遣して駅通を設置し、移住者や旅行者に宿泊拠点を提供するなど、山麓地域の開発に大きな役割を果たしました。伊達在住時代の（G）に比羅夫伝説を教えたことも、喜茂別の比羅夫神社建立や、蝦夷富士登山会による観光戦略の構築に大きな影響を与えているのです。この（F）が、明治9年にニセコアンとニセコアンペツで新たな硫黄の鉱脈を発見したことが、その後の（D）の硫黄鉱山経営に結びついたのでした。

【問23】 Aに該当する山の名前を選んでください。

- 1) ニセコアンヌプリ 2) イワオヌプリ 3) チセヌプリ 4) モイワ山

【問24】 Bに該当する年代を選んでください。

- 1) 1700年代後半 2) 1800年代初め 3) 1800年代後半 4) 1900年代

【問25】 Cに該当する年代を選んでください。

- 1) 明治10年代 2) 明治20年代 3) 明治40年代 4) 大正10年代

【問26】 Dに該当する事業所の名前を選んでください。

- 1) 未来社 2) 永年社 3) 水平社 4) 開拓農社

【問27】 Eに該当する事業所の名前を選んでください。

- 1) 三菱鉱業 2) 住友財閥 3) 三井物産 4) 久原財閥

【問28】 Fに該当する人物の名前を選んでください。

- 1) 副島種臣 2) 田村顕允 3) 河合篤叙 4) 沼田流人

【問29】 Gに該当する人物の名前を選んでください。

1) 副島種臣

2) 田村頭允

3) 河合篤叙

4) 沼田流人

7：温泉とスキーが創った「ニセコ」ブランド

ニセコ・羊蹄山麓の温泉史は、明治30年に開業した山田温泉に始まります。その場所に、その後ニセコひらふスキー場が開設されますので、ニセコ山系における温泉とスキーの結びつきを象徴する幕開けと言えます。北海道鉄道がこの地に比羅夫駅を設け、蝦夷富士登山会が結成された同じ年明治37年には、青山温泉が開業します。青山温泉は、今の昆布温泉郷のなかにある7つの温泉Aの一つで、成田伝吉が発見した泉源を青山徳治が取得して青山温泉と命名するのが事実上の始まりです。青山も途中で経営が苦しくなって譲渡しますが、青山温泉不老閣を舞台とした歴史的な出来事がその後モ続きます。

鉄道の乗客が温泉に関心を持たないはずはなく、この頃からさまざまな温泉が開業します。青山温泉の不老閣には北大学生スキー部が毎年合宿し、同じ昆布温泉郷の宮川温泉（現在の鯉川温泉）には小樽高商のスキー部が合宿し、温泉とスキーの結びつきを深めます。昭和3年、スイスのサンモリッツで第2回冬季オリンピックが開かれましたが、この冬季オリンピック終了直後、(B)さまが青山温泉の不老閣に宿泊してスキー登山に臨みます。地元では、スキーに堪能な警察官や北大スキー部の学生などが随行したと記録にありますから、既にスキーは普及しはじめていた頃でした。(B)さまは、ニセコアンヌプリとチセヌプリに登りますが、いずれも悪天候のため目的を達せず、遭難騒ぎまで起きます。この一部始終が(C)によって全国に発信されたことから、ニセコ山系の雪質がサンモリッツにも劣らないパウダースノーであることが全国に知られ、「ニセコ」の名が一気に全国区となったのでした。ニセコの雪質を世界的なブランドにするうえで、このとき(C)が「極東のサンモリッツ」と報道したことは、後々に大きな効果を発揮します。また、昭和10年代にニセコを訪れたスキーの世界的権威(D)により「東洋のサンモリッツ」と賞賛されたことも、大きな後押しとなりました。その後、青山温泉は大きな歴史的役割を終えるかのように、その華々しい歴史を閉じます。

【問30】 昆布温泉郷に含まれる7つの温泉Aに該当しないものを選んでください。

1) 宮川温泉

2) 青山温泉

3) 五色温泉

4) 成田温泉

【問31】 Bに該当する宮様の名前を選んでください。「スキーの宮様」とも言われました。

1) 高松宮

2) 秩父宮

3) 三笠宮

4) 李王根

【問32】 Cに該当する新聞社の名前を書いてください。→ (小樽新聞社)

【問33】 Dに該当する人物の名前を選んでください。

1) ライマン

2) アンチセル

3) クロフォード

4) シュナイダー

8：松浦武四郎による尻別川踏査の意義

後に「北海道」の名付け親**A**となった松浦武四郎が、江戸幕府の命により尻別川をはじめ踏査したのは、安政4年のことです。この年の調査結果は『丁巳東西蝦夷山川地理取調日誌』に記され、翌年安政5年の調査結果は『戊午東西蝦夷山川地理取調日誌』として幕府に報告されました。しかし、幕府がこの両報告書の公開を禁止したことから、武四郎はその内容を一般に広めるため、安政6年に**(B)**を著しました。この書の中で、武四郎は後方羊蹄山に登ったと記していますが、発禁処分となっていた両報告書に関する最近の研究によって、これはフィクションであることがほぼ確実となっています。後方羊蹄山の素晴らしさを多くの人に伝えたいという、武四郎の想いが表れていると言えるでしょう。『日本百名山』を著した**(C)**も、この書を読んで「後方羊蹄山」に強く惹かれたと著しています。

松浦武四郎が「後方羊蹄山」に登ったと記したことは、彼の丁巳・戊午両年の調査の動機と深く結びついていると考えられます。彼は、調査の前年である安政3年、幕府函館奉行所に蝦夷地開拓に関する意見書を提出し、その実現に向けた現地調査の必要性を訴えます。翌年からの調査は、この意見書に強い関心を示した幕府の意図により実現したのですが、武四郎の開拓構想とは次のようなものでした。蝦夷地開拓の中心拠点は「後方羊蹄山」麓に置くべきである。それはもちろん阿倍比羅夫が郡庁を置いたと言われる場所であり、そこには中央政庁を設置し、精神的支柱として後方羊蹄神社を建立し、中央政庁に至る5つの道**D**を開削すべし、というものでした。この構想は、おそらく幕府が北方警備の緊迫性から内陸を結ぶ主要道路幹線の必要性を感じていたことから採用になったものと思われます。報告書が発禁処分となったのも、報告書中の事実を一般の目に触れないような措置だったのでしょう。戊午の報告書が示した、虻田から中山峠を通過して札幌、石狩に抜ける探索路が、その後の本願寺道路となってその戦略的狙いが形を現し、現在の国道230号に繋がっていることを振り返っても、その歴史的意義は明確です。

【問34】 **A**について武四郎は「北加伊道」と提案しました。この提案には彼のある想いがこめられていたと言われます。それは、どんな想いだったのでしょうか。

- 1) 内陸の道路の可能性を探索し、道路の重要な役割に対する期待を「道」に託した
- 2) 廃藩置県により「府・県」に統一される前に、「道」としてのあり方を主張した
- 3) 蝦夷の音読みが「加伊カイ」であることに重ね、蝦夷地支配の歴史を記念したい
- 4) 蝦夷の音読みが「加伊カイ」であることに重ね、アイヌへの敬愛の心情を託した

【問35】 **B**に該当する書物の名称は何ですか。

- 1) 東蝦夷志
- 2) 久摺日誌
- 3) 後方羊蹄日誌
- 4) 近世蝦夷人物誌

【問36】 **C**に該当する人物は誰ですか。

- 1) 深田久弥
- 2) 志賀重昂
- 3) 谷文晁
- 4) 小島鳥水

【問37】 提案された5つの道**D**に該当しない道はどれでしょう。

- 1) 虻田からの道
- 2) 石狩からの道
- 3) 岩内からの道
- 4) 磯谷からの道

9：尻別川流域のアイヌの生活圏と本願寺道路の開削

松浦武四郎は、安政4年の尻別川探索で、初めは河口の磯谷から上流に向けて辿りますが、途中（A）のあたりで激流ポイントに阻まれ、遡行を断念します。その後、今度は共和国富のあたりから倶知安に入り、（B）のあたりで尻別川に入りますが、この前後も激流ポイントで動きがとれず、このルートも諦めました。その年の夏、虻田から尻別川上流部の喜茂別に入って探索は成功するのですが、このように、尻別川は途中数十箇所に激流ポイントがあつて容易に遡行できない状態でした。この状況はアイヌにとっても同じだったようです。もともと尻別川流域一帯の漁業権は下流域に生活拠点を構えていたイソヤアイヌの領分でしたが、とりわけホロイチャン（倶知安八幡）の激流ポイントを上流に越えていくことは難しかったようで、その後、虻田方面から尻別川上流域に通うアブタアイヌ、ウスアイヌとの間で漁区の境界を設けることに合意し、互いの生活圏を認め合つてサケ漁を続けていました。しかし、和人が入り込むようになってから和人による密漁が流域でも行なわれ、アイヌの生活圏が脅かされる事態が発生していますが、アイヌの訴えに対して松前藩も幕府も有効な手を打たない状況が続きました。武四郎の探検によって密漁の実態も明らかとなり、武四郎は現地の役人に対して取締の必要性を申し入れています。このように、激流ポイントの存在によって尻別川は繋がっていない川となっていたため、海岸から川に通うアイヌの道が存在していたのです。そのひとつが虻田から喜茂別に抜ける道路でした。安政4年、武四郎がアイヌの案内でこの道を辿り尻別川の探索に成功したことは、様々な意味で大きな意義と影響をもたらしたのです。

明治3年、それまで（C）と関係の深かった東本願寺は、関係の修復を目的として当時財政難にあえいでいた明治政府にさまざまな財政支援を申し出ます。そのひとつが本願寺道路の開削事業でした。明治政府は、函館と札幌を繋ぐ内陸の道路網が軍事的にも政治的にも有用であると認識し、その開削を本願寺に託します。そのルート設定に当たって、本願寺は（D）の提案した案を採用しました。（D）は、虻田から留寿都を通つて喜茂別そして中山峠を抜けて札幌に至るルートを提案したのです。1年半にわたる突貫工事によって開通した本願寺道路は、門徒だけではなく、アイヌ、和人人植者、伊達亘理藩士たちによって担われました。現在の道路から見ると踏み分け道のようなものでしたが、このルートの多くはそれまでアイヌが狩猟やサケ漁などに使つたルートなどを所々繋いだものだったのです。本願寺道路は明治20年代にかけて大幅にルートの変更を受けながらも改修され、その後の国道230号へと発展します。本願寺道路開削を現地で指揮した現如上人の功績を讃える像が、本願寺道路途中の（E）に建っています。

【問38】 Aに該当する地名はどれでしょう。

- 1) 名駒 2) 港 ③) 目名 4) 昆布

【問39】 Bに該当するのは、つぎのどれでしょう。

- 1) 硫黄川 2) クトサン川 ③) ソースケ川 4) 真狩川

【問40】Cに該当するのは、つぎのどれでしょう。

- 1) 松前藩 ② 徳川幕府 3) 薩摩藩 4) 伊達藩

【問41】Dに該当する人物の氏名を書いてください。→ (松浦武四郎)

【問42】Eに該当する場所は、つぎのどれでしょう。

- 1) 伊達市黄金 2) 真狩村市街地 ③ 中山峠 4) 札幌市手稲

10：農と食

羊蹄山麓の農業は、畑作と水田が大きな特徴となっています。地域の名前がブランド化した蘭越町の米、日本一の生産量を誇る真狩村のユリ根、かつては生産量が日本一だった喜茂別町のホワイトアスパラなどが代表的な農作物です。しかし、この地域のもっとも大きな特徴となるブランド農作物はジャガイモです。明治初期にさまざまな品種のジャガイモが導入され品種改良も行われ、大正末期には「男爵薯」がこの地域の代表的な品種に育ちました。昭和10年代には、(A)でデンプン質の多い「紅丸」が誕生、羊蹄山麓はジャガイモの一大生産地となりました。

収益性の高いジャガイモは連作になりがちで、昭和40年代には、羊蹄山麓において日本で初めてシストセンチュウによる被害が発生、深刻な事態となりました。その対応策は大きく2つの路線によって実施されました。そのひとつは(B)であり、もうひとつは(C)です。これらの対策が功を奏し、シストセンチュウは今日ほぼ克服されています。特に、(C)によって留寿都村の農家はその普及に努力したキタアカリは、調理のしやすさや食味の点でも消費者に歓迎されています。このような(B)や(C)の組み合わせによって、羊蹄山麓の各町村はそれぞれが個性的で多様なジャガイモ産地を形成しています。倶知安町や京極町では「男爵」の生産割合が非常に高く、(A)では「キタアカリ」の割合も高く、ニセコ町や真狩村は多品種という特徴が見られるようになりました。

【問43】Aに該当する町村名はどれでしょう。

- 1) 倶知安町 2) 京極町 3) 真狩村 ④ 留寿都村

【問44】シストセンチュウに対抗した農法Bはどれでしょう。

- 1) 地産地消の徹底 2) 農薬消毒の徹底 ③ 輪作の推進 4) 有機無農薬

【問45】シストセンチュウに対抗したもうひとつの農法Cはどれでしょう。

- 1) 土壌改良 ② 抵抗品種の開発 3) 作物転換 4) バイオ技術